

第2回 金沢湯涌江戸村活性化検討委員会 議事録

■日程・場所

日時：令和6年10月8日(火)10:00～12:00

場所：金沢市役所第一本庁舎 7階 第4委員会室

■次第

1. 開会
2. 局長挨拶
3. 議事
 - (1) 活性化に向けた具体的取り組み(案)について
 - (2) 管理棟の平面図(素案)について 非公開
4. 閉会

■会議録

1. 開会

2. 局長挨拶

委員の皆様におかれましては、御多忙のなかご出席いただきお礼申し上げます。また日頃より本市の歴史まちづくりに関しご指導ご助言を賜り、厚くお礼を申し上げます。8月に開催した第1回委員会では、金沢湯涌江戸村の現状や課題、活性化の方向性に対する意見をいただいた。今回はそれらを踏まえ、活性化に向けた具体的な取り組み(案)と管理棟の平面図(素案)について意見をいただきたい。委員のみなさまには忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

3. 議事

- (1) 活性化に向けた具体的取組み(案)について

委員長： 会議次第に従い、議事(1) 活性化に向けた具体的取り組み(案)について事務局から説明をお願いします。

事務局： 一資料説明—

資料1「第2回金沢湯涌江戸村活性化検討委員会」

委員長： 追加アイデアや改善策をいただきたい。

B 委員： 4点ある。1つ目は、一度行って終わりではなく何度も行きたくなる仕掛けを想定されているのかということである。ワークシートのような受け身だけでなく、来場者が発信する側になる取り組みや、季節ごとに何か違うことがあるな

ど、意図的にどういう風に仕掛けようとしているか。

2つ目は、手持ちの光源は良いと思ったが、江戸東京たてもの園の切り絵が参考になると思った。例えば、各旅館で宿泊客に自作キットを配布して作ってもらい、江戸村の受付で明かりを渡し、終わった後は持ち帰ってもらうと良いと思った。

3つ目は、学生のクラブ活動の場として料金はかかるのかがわからなかった。

4つ目は、グッズについての検討についてこちら側が決めてしまうのではなく、中高生や大学生とコラボして、長期的にお土産づくりや地域に由来するグッズを作っていけると良いと思う。

委員長： 現在も季節ごとに取組はされているので、それをどのように発信していくかが重要だと思う。

事務局： 来場者が発信するような仕掛けについては、具体的にはどのようなイメージか。

B 委員長： 例えば、小学生が来場して何かを発見した際の感想や、模写した絵を飾る、中高生が探求学習したものを展示する等が考えられる。それを来場者が見ることとさらに学びになると思う。

事務局： 検討したい。管理棟で小学生のアイデアを掲載してもよいかもしれない。

委員長： ライトアップについて、2年前に金沢城でLEDの提灯を持って回るイベントをしていた。手持ちで歩くのは非日常で良いと思う。たしかに切り絵等の参加型のものがあると尚良いと思う。学生の連携は重要であり、接点を持つことは重要である。ライトアップについても金沢工大と連携しても良いかもしれない。グッズについては、どこが主体になるのか、調整が必要だろう。

事務局： 江戸村は高校生以下は無料、大学生に関しては20人以上で団体料金となっている。今後減免の可能性も検討していきたい。小学生の発信について、ふるさと異人館で小学生の探求学習が展示されていたので参考にしていきたい。

B 委員長： 単に見学であれ学生からお金を取っても良いと思うが、発信への協力、学習等の用途であれば計画書等を出してもらい減免しても良いと思う。

G 委員長： 食べ物の販売について、どう課題を乗り越えていくか苦心している。囲炉裏火で一服をしている時に来場者は喜んでいたので、食べ物をもう少し提供しても良いのかなと思っていた。湯涌には他にも施設があるが、江戸村の中だけ

で幅広い取組みを考えてほしい。一方みどりの里で野菜を販売しているが、湯涌江戸村でもすると邪魔をしてしまう感じになってしまうかもしれない。

委員長： 囲炉裏火でご飯を食べたり一服するのは日常的に行うか、イベントでやるか。

G 委員： 月一度のイベントでやれば良い。

D 委員： 先日も栗ご飯を竈で炊いて、来場者に提供していた。江戸村内での食事はできと思うが、調理をする場としては不適切であり、保健所の許可もいる。この前も、下処理までしたものを提供するという形で許可をもらっていた。常時食事を提供するのであれば、ハードルがある。私が赴任する前は餅つき等もされていたが、コロナ禍を経て厳しくなってきた。

事務局： 川崎民家園では、囲炉裏火でお話をしていた。E 委員にお聞きしたいが、園内での飲食はしているのか。

E 委員： 基本的には専用の調理場がないと提供ができない。ただし民家園ではお蕎麦屋さんがあるのでそこで提供している。園内の見学なしで、お蕎麦だけ食べるお客さんもいる。カフェについては洗い場が必要であったため、流し場を仮設で作り保健所の許可を取った。どこまでするかによって用意するものが違う。江戸村の場合は管理棟内に調理可能な場をつくる、温泉施設からケータリングする等も考えられるだろう。

可能性があると思うのは、温泉街のガイドで江戸村を案内してもらえると良い。朝ガイドをして、朝ごはんを園内でケータリングされたものを食べる。午前中に園内で何か体験をして、お昼は旅館からケータリングしたご飯を食べる等も考えられる。神奈川県で山伏の参詣に来る方が泊る場所の調査をしていると、大山という豆腐料理が有名な場所では、それぞれの旅館が豆腐料理を考案している。湯涌の旅館組合に江戸村で食事をする際に、どのような料理が提供できるかを考えてもらい、江戸村とコラボした食事が何種類か食べられると良い。温泉街の関係者の方に江戸村の魅力を知ってもらうだけでなく、何ができるのかを考えてもらっても良い。

委員長： 1 日のワンデイトリップを地元と連携しながら作るのは良いと思う。温泉街と連携したツアーやコンテンツ造成ができると尚良い。食事に関しては、ケータリングが現実的なのかなと思う。

C 委員： 学習的な動画の放映について、学芸員さんが解説される動画は具体的にどのような動画を想定されているのか。五箇山ではガイドが合掌造りの歴史や世界

遺産としてのあり方を話してくれてリピートしたくなった。10分程度で江戸村全体を説明するのか。

事務局： 3分程度の動画を複数本作成する予定である。学芸員が持っている知識やこれまでの歴史を動画で見た上で、施設を回ってもらうことができると良いと思っている。現状、学芸員は1人であり、それを補うことができると良いと思っている。

委員長： 金沢の暮らしの歴史と各建物について、江戸村の全体像や成り立ちについての説明ができれば良い。

G委員： 江戸村の歴史や成り立ちを説明すること、案内することがとても重要だと思う。これまで個人的に説明をしていたがとても喜んでくれた。案内がないことによって、何も分からずに帰ってしまう。現状はガイドしている姿が見えない。草刈りをしている時に、手をやめてでも話をするとう喜んでもらえる。

D委員： 案内を全くしていないわけではなく。私と技師で案内しているため、いつくるか分からない人に対してガイドすることは難しい。現在は予約制にしており、40人を定員として村内のガイドをしている。個別に来られた方に対応して欲しいという意見は分かるが、現在の人員では対応が難しい。まちなかのボランティアガイドにしても事前予約が必要である。江戸村でもそういう方に待機してもらうことも考えられる。

事務局： 先日視察に行った川崎民家園では、ボランティアが120名程いらっしやって、囲炉裏火のボランティアをしてお話をした。おもてなしの意識が感じられ、来てよかったという想いになった。ボランティアの方がいることを案内し、時間帯によっては園内放送をして特定の建物で説明をする等をしていた。いきなりここまで江戸村でやることは難しいが、特定の時間帯で説明をすることを告知したり、G委員のようなボランティアの後継者を見つけることが課題である。

委員長： どこでどのような情報を出すのかは今後検討が必要だろう。

B委員： 人の気配が見えると良いと思う。例えば書籍コーナーで村長のおすすめ書籍を紹介したり季節で置くものを変えたり、〇〇温泉女将のおすすめスポット等を作っても良い。

委員長： 最後に私の気づいたことだが、1つ目はパネルの設置について、金沢のどこの場所にあったのかは重要だと思う。石川県の地図だけでなく、金沢市のどの場

所にあったのかをより詳細に示せると良い。

2 つ目は建物について紹介する際に、大人向けには建物ごとの何かを用意し、集めて閉じることで江戸村の本になるような展示もできると良い。

3 つ目はブランディングである。今後の PR について、江戸村のロゴやコンセプト、キャッチコピーを考えながら、WEB サイトでの発信も見直していければ良いと思う。

活性化に向けた取り組み（案）としては、こちらの案で了承ということで良いか。

委 員 一 同： 異議なし。

委 員 長： ではこのまま進めていく。

（２）管理棟の平面図(素案)

非公開のため省略

4. 閉会

事 務 局： 委員の皆様におかれましては、長時間にわたりそれぞれの立場から活発なご意見をいただき感謝申し上げます。最後に課長より閉会の挨拶を申し上げます。

事 務 局： 改めて皆様には感謝申し上げます。欠席の F 委員にも本日の内容をお伝えし、第 3 回に向けてまた検討したい。8 月の第 1 回の委員会以降、川崎民家園の視察や事例収集を行いながら事務局で検討を進めてきた。次回は 1 月の開催を予定している。本日いただいた意見をもとに、具体的な取り組みとスケジュール案、管理棟の設計の案を示したい。引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

— 以 上 —